

第 104 回番組審議委員会議事録

日時：令和 5 年 5 月 17 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 8 名
2. 出席委員数 5 名
3. 出席委員の氏名

稲葉美津江 委員長・長橋順 副委員長・渡邊朱美 委員・青木洋一 委員・
安藤滋 委員（順不同）

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長 山本茂放送局長

山本：本日はお越しいただきありがとうございます。今日は 104 回目の番組審議となります。それでは稲葉委員長から一言お願い致します。

稲葉委員長：急に熱くなりまして、体調には気を付けましょう。

今日もどうぞよろしくお願い致します。

小沢：今日もお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

今日も忌憚のないご意見をよろしくお願い致します。

番組審議

- ・審議番組 f-times内 「富士山背百景プロジェクト」
- ・放送日時 令和 5 年 4 月 20 日（木）10：10～10：30
- ・出演 伊藤慶・桜木美緒
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：前は昨年 10 月からはじまった川口カズヒロの「道景色」という番組を審議しました。道に特化した番組でありながら、道の話が少なかったというご意見があり、制作者本人にも伝えました。彼自身地元のミュージシャンとして活動しており、今後番組含め地域を盛り上げていければと考えております。

つづいて、今回審議していただくのは、f-times内 「富士山背百景プロジェクト」です。f-timesは月曜日から木曜日の朝7時から11時まで生放送している番組で、今年から始まった新コーナー「富士山背百景プロジェクト」をご審議いただきます。

「富士山背百景プロジェクト」は私たちが住む富士市、富士宮市から見える「富士山」に特化したコーナーです。世界に誇る富士山を撮影、その撮影した富士山を”背”にした写真を撮影。富士山を背にしてもそこには素敵な風景が広がっています。リスナーさんからはそんな富士山を背にした風景をInstagramに投稿し、番組内で紹介し、みなさんと富士山が背にある日常を共有しているコーナーです。毎月1名にプレゼントがあたり。また、年間最優秀背百景も選出されます。

。

約10分後

稲葉委員長：それでは番組審議をしていきたいと思います。
ご意見よろしくお願いします。

長橋副委員長：ラジオ番組ではありますが、Instagramの画像を見ながら話をしている。聴いている側にとって難易度はあるが、実際聴いてみるとスマホと併用すれば面白いと感じた。また、多様性があり若者やInstagramを活用している人達にとって新しくリスナー獲得になるのではないかと思いました。

安藤委員：コロナが落ち着いた中、タイミングとしては良いのかと思った。富士山が見える場所の情報がわかって良いと感じた。また、Instagramに投稿された情景もナビゲーターが解説していておもしろいと感じた。ただ、話し方のテンポが速いと感じた。Instagramを見ながらなので仕方がないかもしれないが、聞き流しながら聞くとテンポが速く感じた。プレゼントのネーミングも良い。関わってみたいと感じた。また、Instagramに投稿した写真をホームページでも見られる様にすれば、Instagramのアプリを持っていない人にも共有できるのではないかと感じました。県内外の人を対象にはできないのか？キャンプ場に告知のポスターを張るなど。

渡邊委員：耳からくる情報で、想像しながら聞いていた。聴きながらInstagramを見たが追いついていけなかった。ただ、番組内で紹介した富士山のビュースポットが分かってよかった。富士山が身近にあって、ビューポイントの紹介もあって良かったと感じました。

青木委員：提供スポンサーがあるのだから、スポンサーの企業情報が入っても良いのでは

と感じた。地元の人間にしてみるとなんとなくわかる。インスタグラムを見なくても、音だけの魅力、声だけの魅力があってよかった。ただ、SNS やホームページにも掲載してメディアミックスをかけても良いと感じた。

稲葉委員長：番組として、これまで聴いていた人以外も取り込もうとする、多様性を意識した番組だと感じました。また、インスタグラムを活用した新しさも感じられる番組で、放送エリアの人たちだけでなく、県外の人たちにも参加できるような告知があればと思います。

山本：ありがとうございました。

小沢：それでは今日はこれで終わりたいと思います。

次回は7月19日水曜日ということでまたご都合のつく方はお願いしたいと思います。